

# 桜川市多目的複合施設(仮称)の名称を 一般公募いたします



敷地西側よりのイメージ



敷地東側よりのイメージ



現在、真壁中央公民館跡地に建設が進められている桜川市多目的複合施設(仮称)の名称を広く募集いたします。

名称の決定にあたっては、市民の皆様はもとより、訪れる人々からも親しみを持たれ、かつ覚えやすい名称を採用したいと考えております。

## 応募のしかた

- ① 応募資格／どなたでも、1人何点でも応募できます。
- ② 応募期間／平成22年12月1日(水)～平成23年1月15日(土)  
※当日消印有効
- ③ 応募方法／郵便・FAX・Eメール又は、庁舎内応募箱か直接担当課まで提出してください。
- ④ 必要事項  
I 施設の名称(ふりがな)およびその理由(意味などが)  
II 応募者の住所・氏名(ふりがな)・年齢職業・電話番号・Eメールアドレスなど
- ⑤ 応募規定／採用作品に関する

る一切の権限は市に帰属し、応募作品の返却はしません。なお、採用作品の使用に際して、必要に応じ趣旨を損なわない範囲の変更を行う場合があります。

⑥ 選考結果／広報紙・市HPにて発表します。(平成23年3月頃予定)

⑦ 応募者特典  
応募者の中から抽選で、10人に三千元(商品券)を、また、採用者の中から抽選で、1人の方に三万円(商品券)を贈呈いたします。

■ その他／詳しい情報は市HPに掲載してまいります。

■ 問合せ・応募先／文化生涯学習課 生涯学習係 多目的複合施設担当(〒300-1449 桜川市真壁町飯塚911、☎58151111・029612017522、FAX Eメール gakusyu@city.sakuragawa.lg.jp)

多くの皆様のご応募をお待ちしております。

## 建築のイメージ

地域の古い町並みに残る家屋(日本建築)を調査し、施設規模にふさわしい形状を近代的技法の鉄板壁式構造により機能的に配置しました。

### I 木製格子による外観

木の風合いを生かした色調の木板を西側通りに貼付け、町並みとの調和を図っています。

す。(茨城県産間伐材利用)  
II 白壁による外観  
漆喰を思わせるように鉄板の外壁を白く塗装しています。

### III 屋根の形と窓

折り屋根にすることで高さを抑え、また採光を確保しつつも窓を最小限にすることで、周辺環境に溶けこんで佇むような存在になっております。

## 設計者からのコメント

【設計組織 ADH 渡辺 真理】

桜川市真壁町は筑波山系のふもとに伝統的な建造物が多く、登録文化財として残されているまちとして知られています。また、真壁の中心部には中世以来の街路割がよく残されています。そのため、今年度、全国で87番目の重伝建地区(重要伝統的建造物群保存地区)に選定されました。「多目的複合施設」はその重伝建地区のほぼ中央に位置していますから、既存の都市景観によく調和する建物であることが当初から設計の大きな目標となっていました。そこで私たちは実際にまちの伝統的な建物を「サンプリングして実測するところから設計を始めました。多目的

的複合施設の建物外形は真壁の複数の建物の外形の組合せ(アセンブリー)で出来ています。建物のかたちは歴史的な建築物と共通性をもっていますが、この建物は歴史的な建物の模造品(レプリカ)ではありません。21世紀の日本ではなくては不可能な材料や構法が用いられています。例えば、白い外壁は漆喰仕上げとよく似ていますが、実は鉄板の上を遮熱塗料というハイテクな素材を塗装したものになります。とはいえ、いちばん大切なのは市民のみなさんが使いやすい施設であることではないかと考えています。図書室にも集会ホールにも集会室にもワークショップで市民のみなさんから出されたアイデアがちりばめられています。